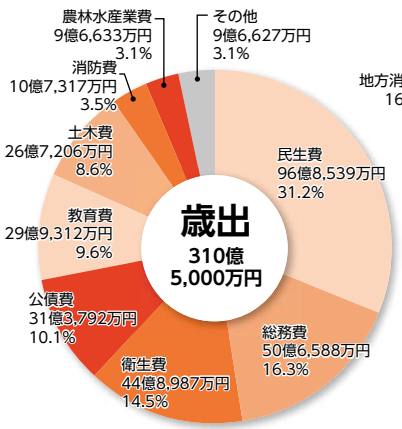
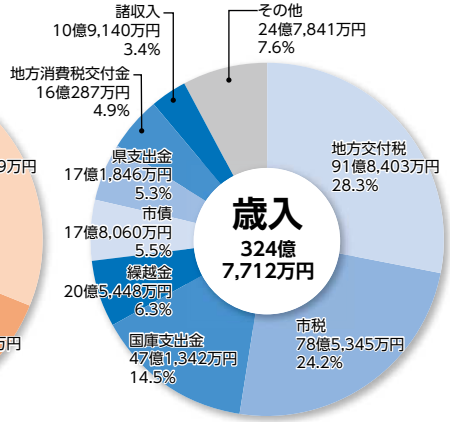
旭市の財政状況 令和４年度 決算の公表

皆さんが納めた税金などの使い道や、市税の負担や市の財産、市が借りているお金はどのくらいになったかなどを皆さんに知ってもらうため、令和４年度の決算を公表します。決算書や財務書類などは、市ホームページで見ることができます。

令和４年度一般会計決算



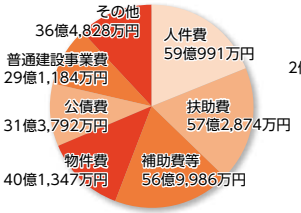


市民１人当たりに使われたお金
49万2千円
（前年度比 ▲9.9%）

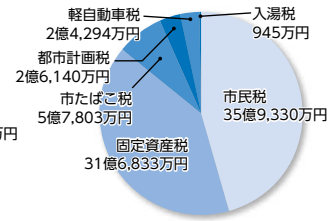
市民１人当たりが負担した市税
12万5千円
（前年度比 +5.0%）

人口 63,067人
（前年比 ▲661人）
（令和５年３月31日現在）

性質別歳出の内訳



市税の内訳



※各グラフの数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

歳出用語の解説

民生費…児童・高齢者・障がい者などの社会福祉にかかる経費
総務費…庁舎管理や税金の徴収、住民票などの発行にかかる経費
衛生費…健康増進や疾病予防、ごみ処理や環境保全、旭中央病院への負担金などにかかる経費
公債費…事業を行うために市が借り入れたお金の返済にかかる経費
教育費…学校教育・生涯学習・スポーツ振興などの教育行政にかかる経費
土木費…道路や公園などの整備や維持管理にかかる経費
消防費…消防や防災にかかる経費
農林水産業費…農業や水産業の振興にかかる経費
その他…議会の運営、商工・観光や就労支援などにかかる経費

一般会計決算

令和４年度一般会計の決算は、歳入324億7、712万円、歳出310億5千万円で、歳入歳出差引額14億2、712万円から翌年度に繰り越すべき財源9、509万円を控除した実質収支額は、13億3、203万円となりました。

歳入の構成比は、地方交付税が28・3％（91億8、403万円）で最も高く、次いで市税が24・2％（78億5、345万円）となっています。

歳出の構成比は、民生費が31・2％（96億8、539万円）で最も高く、次いで総務費が16・3％（50億6、588万円）、衛生費が14・5％（44億8、987万円）となっています。

問い合わせ先
財政課財政班
☎62-5316

市の決算を家計に置き換えてみると

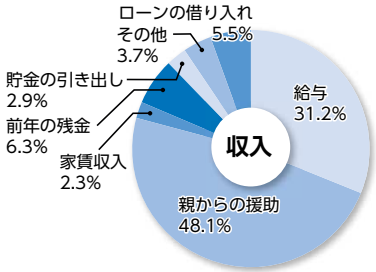
一般会計決算額を年収546万円※の家計に置き換えてみました。
※令和４年国民生活基礎調査の１世帯当たりの平均所得金額で算出。

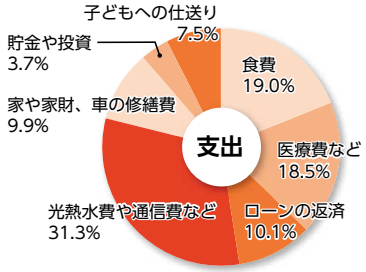
収入

		（前年度比）
給与（市税、地方譲与税、交付金）	170万円	（23万円）
親からの援助（地方交付税、国・県支出金）	262万円	（9万円）
家賃収入（分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入など）	13万円	（3万円）
前年の残金（繰越金）	35万円	（▲10万円）
貯金の引き出し（繰入金）	16万円	（▲29万円）
その他（寄附金、諸収入）	20万円	（3万円）
ローンの借り入れ（市債）	30万円	（1万円）
合　計	546万円	

支出

		（前年度比）
食費（人件費）※1	99万円	（12万円）
医療費など（扶助費）※2	96万円	（▲3万円）
ローンの返済（公債費）※3	53万円	（4万円）
光熱水費や通信費など（物件費、補助費等）※4、※5	163万円	（12万円）
家や家財、車の修繕費（維持補修費、普通建設事業費など）※6	52万円	（▲5万円）
貯金や投資（積立金、投資及び出資金など）※7	20万円	（▲25万円）
子どもへの仕送り（繰出金）※8	39万円	（5万円）
合　計	522万円	





※1 人件費…職員の給与や議員報酬など
※2 扶助費…生活保護、障がい者支援、医療費助成、児童手当の給付など福祉に使ったお金
※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済に使ったお金
※4 物件費…光熱水費、消耗品費、業務委託料など
※5 補助費等…各種団体への補助金や負担金など
※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などに使ったお金
※7 積立金…市の貯金(基金)に積み立てたお金
※8 繰出金…特別会計の歳入を補うために使ったお金